

平成24年度 学校法人 今川学園 事業報告書

1、法人の概要

- ①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】
- ②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>
- ③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員352名 (平成23年度 337名)
- ④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催
- ⑤教職員の状況
木の実幼稚園：教員 26名 職員6名 (内 育児休暇教員1名)
平成24年度新規採用者3名 非常勤1名
平成23年度 退職者3名

2、平成24年度 木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成24年	幼稚園児実員352名		
	3歳児	5クラス	111名	前年度120名
	4歳児	5クラス	128名	前年度113名
	5歳児	5クラス	113名	前年度104名
	未就園児クラス		40名	前年度 60名
	総合計		392名	

②教育目標及び方針

【教育目標】

a、生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。
- ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。
- ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこともしっかり出来る。

b、表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああしてみよう、こうしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

◇保育のモットー「誉めて育てる～誉める時は大きな声で、叱る時は小さな声で」 「子ども一人一人をしっかりと受け入れよ」

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

④保育料及び諸経費

- 保育料：1, 2年保育～21,000円 3年保育～23,000円/月
- 給食費：4,500円/月
- バス協力費：4,000円/月

⑤入園時の費用

- 入園料：1, 2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費：20,000円

⑥預かり保育

- 月～金曜日：13：40～17：00
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施状況

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／宿泊保育、プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地蔵祭り、夏季保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園
- 10月／運動会、参観日
- 11月／秋の遠足
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園説明会
- 3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

⑧主な事業の目的・計画

- ・老朽化した北旧園舎および事務棟を解体し、子どもアトリエおよび新事務所棟を建築した。(第3期工事 工期平成24年6月より11月まで)
- ・南側新グラウンド235坪の第2期の整備を平成25年3月まで行った。
(バス通用門、バスガレージ、園児待機場所新築)
- ・園長が中心となって、プロジェクト型保育及び造形遊びを中心に学年別の教材研究会を定期的に行った。
- ・園外保育の行き先を学年別に見直し、年長・中組みは24年度から新しい行き先で実施した。
- ・新園舎竣工に伴い、保育室の環境構成を見直し、新築棟だけではなく、全保育室に新しいオリジナルの移動型収納家具および積み木台を導入した。
- ・特別支援教育における療育施設と連携し、定期的に指導員の派遣を受けた。その中で毎回個別支援会議を実施した。

3. 財務の概要

24年度も前年度とほぼ同数の園児数の中で、保育料等の収入は安定し、大阪府からの経常費補助金も2.5パーセント削減の中で、経営努力により前年比プラス約200万の補助金を得ることが出来た。

資金的には収入は以上の通り安定したが、24年度も園舎の第3期工事により、施設関係支出が約9000万円となり、支出では突出したものとなった。この支出を賄うため、新たな借入金3200万円が発生した。また生命保険を解約し、その売却収入で補填するなどの対応を取った。

いずれにしても、24年度末を以て園舎・園庭の2カ年に渡る工事は終了したが、25年度以降借入金返済の負担が増えるため、一層の経営努力が望まれる。